



第41卷総目次

昭和 33 (1958) 年

【論説】

寺内町の構造と展開……………協田修一(一)

紀州における藩政の村の集落構成と内わけ村……………近藤忠一(二五)

ナマースガ遺丘……………角田文衛一(四一)

勸農政策と占田課田……………西村元佑二(八九)

庄園制解体期の山城国上久世庄……………上島有二(一一七)

十三植民地の封建遺制……………茨木慶三二(一四〇)

北魏末の内乱と城民(上・下)……………谷川道雄三(一七七)

納所小論……………吉田晶三(一九八)

ワイマール共和国前半期における帝制復興運動をめぐる一考察……………中村幹雄三(二一五)

イギリス封建王政の展開について……………富沢靈岸四(二六五)

郷士家の家族的周辺……………平山敏治郎四(二九五)

ヤマト地名考……………中山修一四(三一七)

古代地方組織発展の一考察……………八木充五(三五三)

崑崙四水説の地理思想的考察……………海野一隆五(三七九)

フリードリッヒ・ナウマンとその時代……………三宅正樹五(三九四)

ヨーロッパ中世都市……………会田雄次六(四四一)

宋代地方小都市の一面……………梅原郁六(四七五)

蘇・松地方における都市の棉業商人について……………寺田隆信六(四九二)

都市における惣的結合の発展……………豊田武六(五一〇)

近世初頭における京都町衆の法華信仰……………藤井學六(五二〇)

織豊両氏の都市支配……………永島福太郎六(五四二)

近世城下町プランの発展類型……………矢守一彦六(五六一)

シムメール都市国家ラガシュに於ける神殿の社会組織について……………山本茂六(五八一)

【動 向】

中国史の時代区分論展望……………内藤 申一(六四)

ドイツの東洋学 附日本学……………田村 實造三(三三四)

中国考古学の諸問題(一・二・三)……………水野清一治一康夫五(四二八)

【書評と紹介】

Maurice Lombard: L'évolution urbaine Pendant le haut moyen âge……………鮎田 豊之…一(七五)

笠原一男著「親鸞と東国農民」……………北 西 弘一(七九)

井上光貞著「日本浄土教成立史の研究」……………田村 円澄二(一六一)

山口弥一郎著「開拓と地名」……………藤岡 謙二 郎二(一六六)

L. Chi.: The Beginnings of Chinese Civilization (李濟著「中国文明的開始」)……………伊藤 藤 治二(一六八)

東洋史研究会編「羽田博士史学論文集」上巻歴史篇……………榎 一 雄三(二四二)

赤松俊秀著「鎌倉仏教の研究」……………藤 島 達 朗三(二四五)

吉村茂樹著「国司制度崩壊に関する研究」……………横田健一…三(二四九)
 塩沢君夫・川浦康次共著「寄生地主制論」……………中村哲…三(二五三)
 山田憲太郎著「東西香菓史」……………加藤保…三(二五九)
 相田二郎著「蒙古製米の研究」……………上横手雅敬…五(四三六)

【学界消息】

史学研究会関係(八五、一七三、三四八、六一三) 国史関係(八五、一七三、三四八、六一三)
 東洋史関係(八五、一七四、三四八、六一三) 西洋史関係(八六、三四九)
 地理学関係(八六、一七四、三四九、六一三) 考古学関係(八六、一七二、三五〇、六一三)
 京都大学卒業論文題目(三五一)